

その病気、 歯周病のせい!?

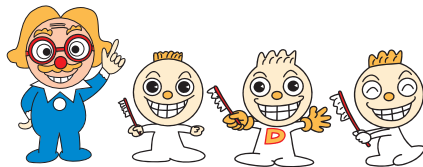
歯周病と全身疾患

歯周病は、歯垢(プラーク)中の病原菌によって歯周組織(歯を支えている歯肉や歯槽骨)が破壊される恐ろしい病気です。放っておくと歯が抜けるばかりでなく、全身の健康にも少なからず影響をおよぼすことが分かっています。

歯周病と関係のある全身疾患には

- ① 心臓血管疾患
- ② 早産・低体重児出産
- ③ 骨粗鬆症
- ④ 誤嚥性肺炎
- ⑤ 認知症
- ⑥ 糖尿病

などがあります。



©2000やなせたかし / 高知県

【発行・編集】

高知県健康政策部 健康長寿政策課

〒780-8570 高知県高知市丸ノ内1丁目2番20号
TEL.088-823-9675 FAX.088-823-9137

一般社団法人 高知県歯科医師会

〒780-0850 高知県高知市丸ノ内1丁目7番45号
総合あんしんセンター2F
TEL.088-824-3400 FAX.088-872-8011

その病気、 歯周病のせい!?



高知家の健口

①心臓血管疾患

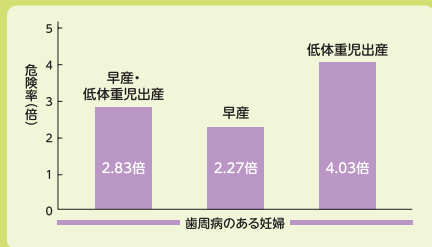
(冠状動脈疾患・動脈硬化・感染性心内膜炎)

歯周病の重症度に応じて心臓・血管疾患発症のリスクが高くなります。これは歯周病の原因菌や歯周病によって生産された炎症性物質が、血液中に侵入して引き起こされるからだと考えられています。

②早産・低体重児出産

歯周病にかかっている妊婦さんでは、早産・低体重児出産のリスクが2～4倍になります。

●早産・低体重児出産に対する歯周病の影響



③骨粗鬆症

歯周病にかかっている方では、閉経後、骨粗鬆症のリスクが高くなります。

④誤嚥性肺炎

高齢者の肺炎の多くは、歯周病の原因菌など口の中の細菌が誤って肺に入ることによって起こる誤嚥性肺炎です。

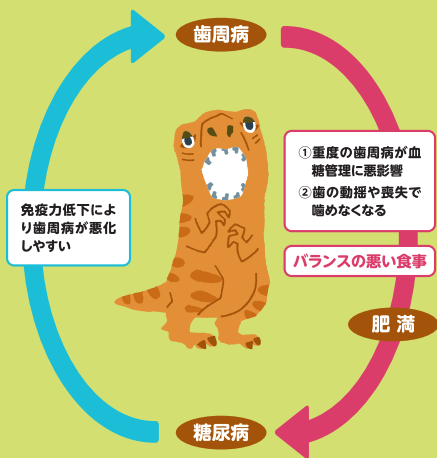
⑤認知症

認知症のひとつである脳血管性認知症の原因は脳卒中。歯周病によって動脈硬化のリスクが上昇することによって脳卒中のリスクも高まると考えられています。また、歯周病を予防してよく噛んで食べることで、刺激が脳に伝わり、アルツハイマー型認知症の予防につながると考えられています。

⑥糖尿病

日本の糖尿病患者は800万人、その予備軍を含めると2000万人以上と言われています。また、糖尿病の患者さんの多くが歯周病にかかっています。糖尿病と歯周病は互いに悪影響をおよぼしあっているのです。

糖尿病の人は歯周病になりやすい



歯周病は糖尿病を悪化させる!

高血糖が続くと...

- ①唾液が減って口の中が乾燥する
- ②プラークが出来やすくなる
- ③白血球の機能が低下する
- ④血液の循環が悪くなる
- ⑤傷が治りにくくなる

ため、歯周病の原因菌が増殖して歯周病になりやすく、しかも治りにくくなります。

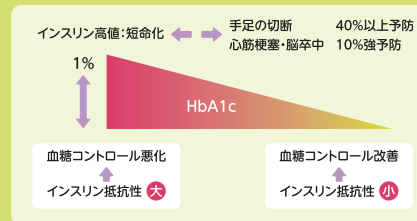


糖尿病の合併症として、

- 動脈硬化症による脳梗塞・心筋梗塞
- 下肢の壊疽 ●腎障害 ●網膜症
- 神経障害
- 歯周病 などがあります。

糖尿病がよくコントロールされていれば、歯周病の治療は健康者と同等の改善効果が得られます。一方、重度の歯周病を治療すれば、血糖コントロールが好転し、HbA1cは最大1%程度改善されます。

●HbA1cの改善による合併症の予防効果



かかりつけの歯科医と一緒に、糖尿病対策に取り組むのじゃ!

